専門教育科目 講義科目

授業科目名	簿記２級入門（商業簿記）	科目コード	配当年次	単位
担当教員	依田　朗裕	HH96	1	2

科目の概要

日商簿記３級合格者または合格レベルの知識を有する者（３級の合格を目指して本気で学習した経験のある人など）を対象にした、「日商簿記検定２級レベルの商業簿記の入門」という位置づけの科目である。日商簿記２級の受験対策テキストを使用する。単なる「商業簿記入門」ではないので注意されたい。日商簿記３級の知識をベースにした、商業簿記のより深く広い範囲の中の基本的論点を一通り理解し、本科目修了後に日商簿記２級のより詳細な、または応用的な論点の学習を効率的に行える実力を養うことを目的とする。

科目の到達目標

①日商簿記検定２級の商業簿記に関する学習内容の基礎を理解することができる。
②本科目修了後、２級商業簿記の本格的な学習にスムーズに移行することができる。

テキスト	『みんなが欲しかった！ 簿記の教科書 日商２級 商業簿記（第13版）』滝澤 ななみ, ＴＡＣ出版, 2024年

テキストの読み方

①本科目は日商簿記２級の基本レベルの商業簿記のスキルを身につけることが目的なので、用語の意味の把握と仕訳作成能力を重視する。まずは目次に目を通し、３級の学習内容と比較してどこが新論点なのかを確認する。続いて目次の次の「スタートアップ講義」を読み、各 CHAPTER の概略を把握する。
②本編の CHAPTER１以降は、次のような順番で読むことをおススメする。⑴図表確認：図表があるときは先に図表を確認する。⑵インプットと不明点等の把握：下線の付いている用語や赤字の勘定科目の意味に留意しながら文章を読む。この際、不明な箇所や理解しにくい箇所に付箋などを付けておく。⑶例題：取引例と仕訳の対応を確認する。⑷アウトプット：章末の基本問題を解く。⑸再インプット：例題や基本問題を解く際に不明点があった場合は、該当するページを再度読みこむ。

単位修得の方法

①リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、２単位を修得できる。
または、
②スクーリングを受講し、合格すれば２単位を修得できる。この場合、リポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。